

- 会長/山田 文雄 ■幹事/小平 直史
- ◆司会=北川 和彦SAA、合田 敦子副SAA
- ◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません。
- ◆出席報告

本日	56.00%	22名欠席
前回訂正	76.00%	12名欠席

- ◆ラッキーナンバー=No. 37 小平直史君
- ◆ニコニコボックス=●山田文雄君・小平直史君=本日はロータリー財団委員会担当のクラブフォーラムです。よろしくお願いします。●玉本広人君・早川亮君・小林正史君・平林明君・合田敦子君=小林さん、松澤さんようこそ諏訪ロータリークラブへ。よろしくお願いします。●小口武男君=NTTの松澤さんSBCの小林さんようこそ。一緒に諏訪ロータリークラブを楽しみましょう。●有賀昭彦君=結婚記念日にお花を頂きありがとうございます。●五末武嗣君=プログラム委員会より来週の卓話は日銀松本支店長にお願いしております。多くの方の出席をお願いします●八幡一成君=9月から諏訪湖のワカサギ漁が始まっていますが入荷量は前年の1/3以下で商売になりません。●小平直史君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・山田文雄君= 戦後、日本のロータリークラブは、1949年3月に先ず東京RCが国際ロータリーに復帰し、京都、神戸、名古屋、静岡、札幌の各クラブがこれに続き、これら7クラブは、新たに第60地区を形成します。1951年4月7-8日、復帰後の第2回地区大会が東京で開催され、この時クラブの数は53に、会員数は2,100人に発展していました。『手に手つないで』は私の生まれた年1952年に新曲として作られたようです。以下「歌うクラブは良いクラブを参照します。1951年4月7-8日復帰後の第2回地区大会の間ロータリーソングを歌った。曲は『奉仕の理想』『我等の生業』の他英語の歌3曲である。戦後も引き続き英語の歌を歌った。ソングリーダーは東京RCの田中金之助(三菱倉庫社長)が務めた。田中は「会議の最中や休憩の前後に、プログラムを無視して、随時の状況判断で壇上に立ちでは歌いましょうと、満場をひきつけ大変な効果を挙げた」。…ソングリーダーとして面目躍如たるものがある。大会の前夜協議会において、京都RCの堀内清(堀内歯科医院院長)から「ロータリーソングの新作」募集の提案が成され「ガバナー諒承、一同賛成」とした。『手に手つないで』誕生の経緯につき『東京ロータリークラブ50年のあゆみ』(1971)は次のように記す。1951年にロータリーソングが募集されたとき、わがクラブからは応募者が一人も出ない、それでは残念と矢野一郎(東京RCソングリーダー・第一生命会長)が、慌てて一夜でものにしたものが『手に手つないで』である。その翌日、全国からの応募作品を審査するために審査員5名が矢野邸に参集した。ぐっとくだけてと、作詞作曲された『手に手つないで』は文句なく一同の喝采を浴びた。矢野一郎は『手に手つないで』誕生につき30年後に回想する。日本のロータリーが国際ロータリー(RI)復帰後、多くの新しい会員が入ってきた。新会員とは

いえ、過半は年寄である。唱歌などあまりやったことがないから、新しい歌を作っても歌えない。他方で若い会員も多数おり、曲の数を増やし、いろいろなことをやろうと考える。年寄はそれを受け入れ難い。よって、その間をとらなければならない。暫く経ってどうも歌う曲が『奉仕の理想』と『我等の生業』の2つしかない。いずれも少し明治調で、言葉も固苦しい。ロータリーはもう少しだけた会である。新しい歌を作ろうという議が起こり、日本中に呼びかけて新しいロータリーソングを募集することとなった。応募は20曲か、30曲あったのではないか(◎実際は18件)『手に手つないで』の曲は萩原栄一(東京RC)がピアノ伴奏譜を作り、藤山一郎(東京西RC)が編曲した。曲は発表と同時に全国に広まった。第60地区は1952年7月から、東日本の第60地区(クラブ数38)と西日本の第61地区(クラブ数28)に分割された。『手に手つないで』は、両地区が友情を確かめ手に手つないでいこうと誓い合った歌と受け止められる。1953年の第61地区大会は神戸で開催された。10月10日、大会前日の懇談会において、最後に『手に手つないで』を合唱する。このとき、SAAの小曾根真造(神戸RC・オリエンタルホテル社長)は急に思いついた。「会場のみなさん、せっかく『手に手つないで』を歌うのですから、どうぞお隣の方と手をつないで元気よく歌ってください」といったところ、初めてのことで、ちょっとマゴマゴしたり、てれくさそうな方もあったが、とにかく手をつないで歌ってもらった。これが面白かったのか、その後いろいろな集会では手をつないで歌うようになった。1961年、国際ロータリー(RI)世界大会が東京で開催された。矢野一郎は東京RCの会長としてホストを務める。大会のフィナーレで、世界のロータリアンは、手を繋ぎあって『手に手つないで』を歌った。矢野はもっとくだけた歌が欲しいという声を聞き、2年後に『それでこそロータリー』(1953年)を作詞作曲した。今日の会長告知は以上とします。

◆幹事報告・小平直史君=①本日の例会は、ロータリー財団委員会の担当例会です。小口武男委員長 よろしく申し上げます。②11月のロータリーレートは1ドル=149円となります。③新入会員 NTT松澤理恵(まつざわりえ)様と、SBC小林由孝(こばやし ゆたか)様が、本日より入会となります。後ほど入会セレモニーを行います。所属委員会は松澤様が会報委員会、小林様が親睦委員会です。④今週末11/12(日)は地区大会が松本にて行われます。ご出席予定の皆様、よろしくお願いします。⑤本日、例会終了後、定例の理事会を開催いたします。メンバーの皆様はお集まりください。

◆新入会員セレモニー

●小口武男会員=皆さんこんにちは。本日より入会となりました、NTT東日本の丸山諏訪支店長の後任になります松澤支店長をご紹介します。お名前は増澤理恵さん、お住まいは松本の牛伏寺の近くとのことです。ご家族は、ご主人、小学校に通うお子さんが2人いらっしゃるとのことです。ご趣味は読書、ホットヨガ、ウォーキングだそうで、特に週末は1万歩以上歩かれているとのこと。諏訪支店長でいらしますが、松本での仕事も兼務されているとこので、諏訪と松本を行き来していると伺っております。また、業務



の中で、街づくりコーディネーターということもやっていらっしやるとのことで、ロータリーも盛り上げていただきたいと思います。

●松澤理恵会員＝皆さんこんにちは。NTT東日本より参りました、松澤と申します。よろしくお願いいたします。丸山の後任で参りましたが、ロータリークラブの仲間に入れて頂けるということで、非常に緊張しております。まだまだ未熟な点がありまして、皆様にご迷惑をおかけするかと思っておりますが、今の担当が街づくりを推進していく、というように担当になります。皆様のお仕事と一緒に、何か連携できることがありましたら、ロータリーの活動を通して、いろいろお話をさせて頂きたいと思っております。また、子供が小さいということもあり、子供の行事等で、こちらの業行事を欠席することもあるかと思っておりますが、精いっぱいロータリーの活動に励んでいきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



●玉本広人会員＝皆さんこんにちは。続きましてSBCの花岡さんの後任になります、諏訪局長の小林由孝（ゆたか）さんです。ご自宅は長野市で、ご家族は奥様、ご長男、ご長女でいらっしやいます。ご趣味は、少年野球の応援だそうで、ご長男が昨年まで少年野球チームに所属していたそうです。小林局長は以前、諏訪にご勤務されていたとのことで、諏訪に戻ってからゴルフのお誘いが非常に多くなって、古いゴルフクラブを引っ張りだしてきたとのことです。当会のゴルフ例会等にも、参加いただけるのではないかと考えております。また、室内娯楽として1980年代のロックの音楽鑑賞が趣味だとのことです。前任の花岡さんも非常に熱心に活動頂きましたので、引き続き、ご活躍いただけたらと思っております。



●小林由孝会員＝皆さんこんにちは。小林由孝と申します。この度は、名門、諏訪ロータリークラブにご入会をお許し頂き、誠にありがとうございます。わたくしですが、2009年から4年間、2013年まで諏訪局にて勤務しておりました。当時は、営業の現場にありまして、今日お集まりの、各界を代表するトップの方々とお会いする機会には、あまり恵まれなかったのですが、また、このような場を与えて頂き、非常に光栄に思っております。諏訪に4年いた後、飯田放送局長として5年勤務しておりましたが、そこでは飯田ロータリークラブに5年間在籍しておりました。会社組織、またプライベートとは違うロータリークラブというコミュニティーにはじめて参加させていただき、大人になると友達付き合いが難しくなりますが、仲間が集ったり、若手経営者の悩みや抱いた想いを語ったり、地域を代表される名士の方から飯田文化を教えていただき、今でもお付き合いさせて頂いている方もいらっしやいます。諏訪ロータリークラブでも、生涯お付き合いをさせて頂けるような仲間づくりを精いっぱいするつもりですので、可愛がっていた



だければと思います。ご指導の程、よろしくお願いいたします。

◆クラブフォーラム ロータリー財団月間

●ロータリー財団委員会小口武男委員長＝本年度、ロータリー財団委員会の委員長を務めます小口です。本日はロータリー財団について、皆様にご理解を頂き、為替レートが円安になっておりますが、ご協力を頂きたいと思っております。ロータリー財団について



ですが、ロータリークラブ、国際ロータリー、そしてロータリー財団の3本柱で支えられていると書かれております。また、財団ですが、1917年に設立され、ロータリー財団の定款により運営され、慈善的・教育的な目的をもって運営をされています。本年の委員会の目標は、皆様からご支援を頂きながら寄付を頂くということでありまして。地区目標は会員ひとりあたり、150ドル、誕生日にひとりあたり100ドルの寄付をお願いするというのを継続するというごさいます。また、ポールハリスフェローを3人以上お願いする、ということを行ってまいりたいと思っております。尚、ポールハリスフェローですが、皆様には、毎年誕生日に100ドルの寄付を頂いておりますので、10年経過すると、ポールハリスフェローになるという仕組みになっております。また、皆様から寄付を頂く以外にも、クラブから財団に寄付をしておまして、2,000ドルを毎年寄付しております。また、ポリオプラスにもご寄付頂いております、一人30ドルを全体の会費から支出いただいております。またロータリー平和センターへもひとり200円を会費から支出いただいております。最後に、ポリオの話について触れたいと思っております。コロナのこともあり、ポリオが増えてしまったと聞いております。国際ロータリーとしても、地区としてもポリオ撲滅のために寄付を集めておりますので、ご協力をお願いできればと思っております。

◆今後の例会日程

11/17(金)	クラブフォーラム 日銀松本支店長 卓話
11/19(日)	家族例会 バスハイク
11/24(金)	準法定休日
12/1(金)	クラブフォーラム 2023年を振り返って

◆2023-2024 地区大会 (11/12)

